

交通政策審議会観光分科会 第27回 議事概要

1. 日時

平成 26 年6月 23 日(月)15 時 00 分～16 時 00 分

2. 場所

中央合同庁舎3号館11階特別会議室

3. 出席者

委員：

木場委員、秋池委員、篠原委員、竹内委員、伊達委員、野田委員、屋井委員、矢ヶ崎委員、大塚委員、奥委員

国土交通省：

観光庁、総合政策局、鉄道局、自動車局、海事局、港湾局、航空局

4. 議題

・「2020 年に向けて、2000 万人の高みを目指すための観光政策」のとりまとめ

5. 議事概要

観光庁より、「2020 年に向けて、2000 万人の高みを目指すための観光政策(仮)」(案)について、資料に沿って説明。その後、委員による意見交換を実施。主な意見は以下のとおり。

- ・MICEによって、ビジネスで来た人たちが、日本を素晴らしいと思って、次は自分の配偶者、家族、友人を連れて観光で来るというように、MICEから観光に繋げていくことも非常に重要である。MICEに来るビジネス客は富裕層の方が多く発信力もある。
- ・観光立国推進閣僚会議は非常に重みがあり、大事な会議である。縦割り行政の弊害はよく言われるが、そういう中で、閣僚会議で全閣僚が集まって、方針を打ち出し、それぞれの省庁が必要な動きをしている。縦割り行政の弊害というものを多少なりとも是正しているのではないか。
- ・訪日外国人の9割以上が空路で入ってくる日本にとって、2000万人という数字が意味のある数字であるということが、提言では非常にわかりやすく書かれている。
- ・宿泊事業者等、地域の観光関係事業者にも、受入環境整備を進める主体になっていただく必要がある。供給能力の確保だけでなく、受入環境整備の必要性も、観光事業者に認識してもらう必要がある。

以上